

① 民間事業者が行う減量化のための技術開発や施設整備への助成（三重県）

○ 産業廃棄物抑制等事業費補助金

県内の産業廃棄物排出事業者等が、自ら排出する産業廃棄物の発生抑制・再生・減量化の研究、技術開発、産業廃棄物を使った製品開発を行う経費の一部を助成

また、県内の産業廃棄物排出事業者等のうち、中小企業者等を対象として、自ら排出する産業廃棄物の発生抑制・再生・減量化に係る設備機器を設置する経費の一部を助成

② 優良な処理業者の育成（岩手県）

＜県産廃処理業者育成センターが適格業者77社を認定＞

県産業廃棄物処理業者育成センター（センター長・伊藤久雄県産業廃棄物協会会長）は、全国初の試みである「適格業者」として七十七社を認定。三十日午後二時から盛岡市の県民会館で、同センターが独自に策定した基準に適合した産廃処理業者として認定証を交付した。

認定証交付式には四十九業者の代表が出席。伊藤センター長から一社ごとに認定証が手渡された。この後、あいさつした伊藤センター長は「全国初めてのやり方（基準）で、申告に基づき審査をしたが、特に格付けはしなかった。認定の期限は二年で、その間に不祥事を起こすと取り消しとなる。全国モデルとなるよう、センターと一緒にレベルアップしながら公害、環境問題を排除していきたい」と述べ、改めて産業廃棄物の適正処理に向けた取り組みを促した。

同センターは、優良な産廃業者育成のため県から県産業廃棄物協会が指定を受け、具体的な業者の格付けなどができる業務規程の認可も受けている。同センターでは内部に第三者の有識者四人による認定委員会を設置し、第一次の認定業者を決定した。

協会加盟の業者は約二百二十社。知事許可業者は県内約七百社、県外約五百社を数えるが、第一次の審査には八十二社が申請、そのうち七十七社が「適合」として認定された。認定業者のうち七十三社が県内で、四社が県外。処理区分では収集運搬だけの認定が三十七社と最も多く、収集運搬と中間処理が二十二社、中間処理だけが九社などとなっている。

同センターでは「格付け制度」とともに、万一、不適正な処理を行った場合の撤去費用などに充てる「保証金預託制度」もスタートさせた。保証金は一社当たり百万円（協会員五十万円）で、こちらは三十日までに五十四社について承諾。預託額は二千七百五十万円となっている。

③ 自治体が行う減量化・リサイクル等のための技術開発や調査（三重県）

○ 産業廃棄物リサイクル技術研究開発費

法律で再資源化を義務づけられている特定建設資材廃棄物のコンクリート廃材及び木質建設廃材のリサイクルを図るための研究開発を行う経費

④ 処理施設の周辺整備事業（公園等）への助成（鳥取県）

産業廃棄物処理施設の整備促進

○産業廃棄物処理施設周辺整備事業交付金

地域住民が処理施設を常に監視できる制度や、施設の周辺地域において公共用施設を整備するための交付金制度を設け、地域住民の理解と協力を得て、本県のために必要な産業廃棄物処理施設の設置を促進する。

【指定施設の要件等】

- ・ 県内で発生した産業廃棄物を処理するため必要と認められるもの
- ・ 施設の運営に当たっては、安全性の確保を最優先し、必要な情報を公開する

【対象事業】

指定施設の周辺整備計画に係る次の事業

- ア) 道路、河川、公園、上下水道、集会施設その他の施設の整備事業
- イ) 産業廃棄物処理施設に関する研修事業
- ウ) その他地域の生活環境の保全又は地域振興を図るために必要な事業

【補助限度額】

施設区分		限度額
最終処分場	安定型	容量により5千万～1億円
	管理型	容量により1～2億円
焼却施設		処理能力により5千万～1億円
灰溶融施設		処理能力により5千万～1億円

⑤ 監視体制の強化等の不適正処理未然防止対策（岡山県）

【適正処理の推進等】	77,239千円
◎産業廃棄物監視強化対策事業	77,239千円
○産業廃棄物不適正処理防止強化事業	17,966千円
・ 連絡通報キャンペーン	(5,613千円)
・ 運搬車両の検問	(648千円)
・ 処理業者の育成支援 研修事業等補助1/2、設備整備補助1/2等	(11,705千円)
○監視指導体制強化事業	59,273千円
・ 警察官OB(3名)の配置	(19,231千円)
・ 休日・夜間監視体制の整備 監視パトロールの委託・監視カメラの設置	(20,297千円)
・ 通報体制の整備 110番の設置、通報協定の締結、監視員160名の委嘱	(19,745千円)

⑥ 普及啓発活動（岡山県）

【意識の改革】	87,550千円
◎循環資源情報提供システム整備事業	29,580千円
循環資源に関するシステムの構築	
◎岡山環境学習フロンティア事業	23,267千円
民間事業者による環境学習プログラム開発の補助(1/3)	
◎エコタウンソフト事業	3,166千円
シンポジウムの開催等	
◎環境にやさしい企業づくり事業	1,584千円
岡山エコ事業所の認定、PR	
◎おかやまっ子環境学習応援事業〈教育〉	27,849千円
○環境学習教材整備事業	(5,700千円)
○環境学習ヴィジット支援事業	(15,400千円)
○スーパー・エンバ イノベーションハイスクール研究開発事業	(6,749千円)
◎瀬戸内海環境美化推進事業〈農林〉	2,104千円